

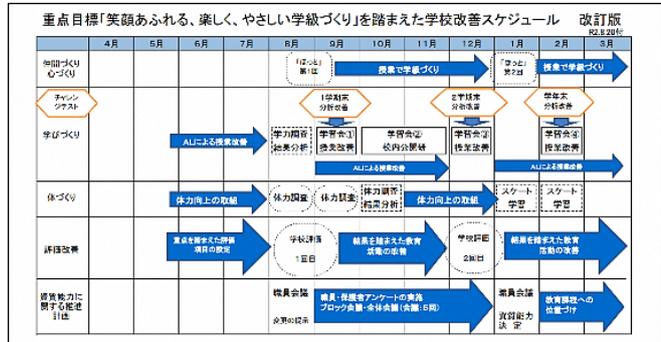
浦河町立堺町小学校

指定年度：H29～
児童数：284名

1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

①学校マネジメント

- 情報収集や課題の要因分析を踏まえた年度の重点の明確化と手立ての共有
 - ・短いサイクルによる検証・改善を基盤に、教職員とより具体的な手立てを共有した課題解決
 - ・「学校改善スケジュール」に沿った、教育活動の評価・改善
 - ・全国学力・学習状況調査、チャレンジテスト、学校評価及び子ども理解支援ツール「ほっと」などの結果を集計し、分析したことを教職員で共有するとともに、各取組を進めることによる改善
 - ・評価項目の中に「子どもに身に付けさせたい資質・能力」を位置付けた学校評価の改善を行い、教職員及び保護者の意見を基にした、来年度の学校経営方針改訂に向けた協議



②落ち着いた学習環境

- 授業スタイルの共有
 - ・「堺小スタイル」による教職員と児童の学習規律、学習過程の共有及び全校的統一
 - ・これからの時代に求められる資質・能力を育成するため、学校として統一した6年間の学びの提供
- 効果的な指導體制
 - ・算数科におけるTT・少人数指導担当を課題のある3・4・6学年に配置
 - ・各学級担任との綿密な打合せを行い、単元や本時の指導方法を工夫

③人材育成

- メンター研修の推進による若手教員の計画的な育成
 - ・自主的、主体的な運営によるメンター研修を実施し、若手教員の資質・能力の向上
 - ・若手教員を学校全体として育てていく意識を高めるとともに、様々な先輩教員から学ぶ機会の設定



④働き方改革

- ゆとりある授業時数確保のための日課の見直し
 - ・午前中に5時間授業を実施することにより生み出した放課後の時間を、児童の個別指導、児童会活動等の主体的な活動及び教師の教材研究等に有効に活用
- 「北海道アクション・プラン」を踏まえた取組
 - ・タイムカードで自己管理し、教職員の意識改革による働き方のタイムマネジメント
 - ・毎月の行事予定に「定時退勤日」を設定することでワーク・ライフ・バランスの充実

2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

- チームとして取り組む、統一した指導で指導力向上
 - ・学ぶ姿勢の高まり、教え育てようとする関係性が構築された。
 - ・指導の学級格差、学年格差を生み出さない「堺小スタイル」が確立された。
- 算数 TT・少人数指導担当教員を中心とした指導力向上
 - ・「算数の学習の内容がわかる」と回答した児童の割合が、3年連続75%を上回った。
 - ・本校の課題であった、児童の算数科に対する苦手意識が解消し、学習意欲が向上した。
- 組織的な教師の力量向上
 - ・困難を抱えている児童の指導、支援及び保護者対応等、専門性がより求められていることから、実践研修を積み重ね、組織的に力量向上を図る必要がある。
 - ・教職員の学校経営への参画意識を高めるとともに、ミドルリーダーを励まし育てるための校内体制を整備する必要がある。

□「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計が80%をこえた項目。			
質問項目	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	合計
56) 算数の勉強は大切だ。	72.2	16.7	88.9
58) 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ	64.8	25.9	90.7
60) 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろ方法を考える。	37.0	44.4	81.4
61) 算数の授業で公式やきまり、計算の仕方などを習うとき、そのわけを理解するようにしている	53.7	29.6	83.3
62) 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるように工夫してノートに書いて理解するようにしている。	48.1	40.7	88.8